「にじいろきらきら 南っ子！」

＜ 南風 令和8年度⑥ ＞

夏休み前集会にて発表した二年生と四年生に続き、前期終業式にて、一年生と六年生からそれぞれ1名が代表で「これまでを振り返って」について発表してくれました。発表内容を紹介します。三年生と五年生は、冬休み前集会にて発表する予定となっています。

～一年生～

「にゅうがくしてからがんばった、3(みっ)つのこと」

4がつにみなみしょうがっこうににゅうがくしてから、ぼくががんばった3(みっ)つのことをはなします。

1(ひと)つめ。ともだちがたくさんできたことです。あいさつをしたり、あそんだりしたりしているうちに、ともだちがたくさんできました。2ねんせいといっしょにえんそくにいって、2ねんせいのことも、ともだちになれてうれしかったです。

2(ふた)つめ。みなみしょうがっこうのことがたくさんわかるようになったことです。にゅうがくしたときはわからなかったことも、たくさんわかるようになりました。そうじのしかたや、かかりのしごと、じゅぎょうとやすみじかんのすごしかたなども、わかってきて、とけいをみて、なんのじかんかわかるようになってきました。

3(みっ)つめ。こくごやさんすうのべんきょうをがんばったことです。こくごはもともとすきだったけれど、もっとこくごがすきになりました。さんすうは、はじめはにがてだったけれど、たしざんやひきざんがはやくできるようになりました。

ぼくは、がっこうがたのしみで、やすみのひに、「あしたのがっこうはどんなことをするんだろう」とかんがえています。にがてなこともあるけれど、こうきもいろいろなことにちょうせんしてきたいとおもいます。

～六年生～

私は 6 年生の前期で学んだことが 2 つあります。

まず一つ目はプール清掃で学んだ協力です。プール清掃は去年に続いて二度目です。はじめ一年間使っていないプールを見た時は「こんな汚いプールを掃除したくない」と正直思いました。水は、緑色になっていて、壁はコケだらけでした。それを見て、「こんなに汚くて、本当にきれいにできるかな。」と心配になりました。水を抜いてからデッキブラシで擦っていた時に、周りからとある声が聞こえてきました。クラスの子がみんなに「みんなで頑張ろ」と声をかけていました。それを聞いて私はそれにこたえようと必死にブラシで擦りました。その子の一言のおかげで、私だけでなくみんなで一致団結して頑張って綺麗にしようと言う気持ちになりました。初めは擦っても擦っても終わらないと思っていたけれど、みんなで協力した結果、あんなに汚かったプールをきれいにすることができました。綺麗になったプールで 1 年生から 6 年生みんなが気持ちよく泳ぐことができると思うと、嬉しい気持ちになりました。プール清掃では、一人ひとりの力を合わせれば、協力してどんなことでも達成できると学ぶことができました。

2 つ目は漢字 50 問テストで学んだ努力です。私は 4 年生の前期まで漢字 50 問テストが嫌いであまり勉強もしていませんでした。「どうせ勉強したって忘れるしいいや」と思ったこともありました。しかし友達の中には 100 点をとっている子も沢山いて、自分の中で「このままではまずい」と感じ始めました。それから次の漢字 50 問テストに向けて家ではノートに漢字の熟語を書いて勉強しました。すぐに効果が出て、点数が 90 点ぐらいまで上がりました。しかし、毎回 100 点を取れるわけではなかったので、「毎回 100 点を取りたい」とめげずにコツコツ勉強に取り組みました。6 年生の漢字テストは、範囲も広くて漢字も多いからより勉強の量も多くなって大変でした。勉強を始めてからは絶対 100 点を取りたいというプライドがあり、努力を重ねた結果、必ず漢字 50 問テストで 100 点をキープすることが出来るようになりました。その時、私はようやく「努力は報われる」という意味が分かった気がしました。100 点をキープするためには、勉強が必要だと思いました。私は漢字を書くことが好きなので、もっと力をつけられるように努力しようと思いました。

このように私は 6 年生の前期で成長したことや学んだことが沢山あります。残りの小学校生活はあと半年ですが、後期でもこの経験を活かしてさらに成長していきたいと思います。